

武士の世の中 | 全国統一への動き

1 単元の概要

応仁の乱の後、全国各地で領地を取り合う争いが起こり、力で世の中を治めようとする動きが現れてきました。そんな戦国の世の中も、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人の武将によって統一され天下が治められるようになります。戦国の世がどのようにして統一されていったのか調べてみましょう。

2 学習のねらいと手だて

- キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の天下統一について調べ、戦国の世の中が統一されていったことを理解させる。
- 三人の武将の活躍の様子をエピソードや絵図などの具体的な資料をもとに調べ、その業績や生き方などについて考えることができるようにする。



検地の模型

3 指導計画（総時数6時間）

学習活動と内容	○指導・支援上の留意点 ◆展示物など	時間
I 三人の武将の天下統一のあゆみについて話し合い、学習問題をつくる。	◆ 豊臣秀吉朱印状	1時間
II 織田信長の天下統一への歩みについて調べる。 ① 長篠の戦い ② キリスト教の保護	◆ 長野城合戦ジオラマ（鉄砲の利用）	1時間
III 豊臣秀吉の天下統一への歩みについて調べる。 博物館での学習 ① どのようにして検地が行われたのかを調べる。 学校での学習 ② 刀狩や外交政策などの政策について調べる。	○ 全国統一されていった様子を展示物からとらえることができるようにする。 ◆ 豊臣秀吉朱印状 ◆ 規矩郡水町村検地帳 ◆ 検米刀	2時間
IV 徳川家康の天下統一への歩みについて調べる。 ① 関ヶ原の戦い ② 江戸幕府の成立	◆ 天下統一と江戸の開府パネル ◆ 江戸幕府と小倉藩・福岡藩の成立パネル	1時間
V 調べて分かったことを発表し合い、天下統一の様子についてまとめる。		1時間

4 学習展開例（2時間扱い）

学習活動	○指導・支援上の留意点	◆展示物など
1 検地について調べよう。 I 検米刀について調べる。 II 検地の模型を見て、どのように行われたのかを調べる。 III 支配されていった農民の気持ちや豊臣秀吉の考えについて話し合う。		博物館での学習 1時間 ◆ 検米刀 ◆ 検地の様子 の模型 ◆ 寛永三年規矩郡 干上村田島検地帳 ◆ 豊臣秀吉朱印状
2 豊臣秀吉の天下統一への歩みについて調べよう。 I 豊臣秀吉がどのように全国統一を進めたのかを調べる。 ・刀狩 ・外交		学校での学習 1時間 ○ 豊臣秀吉が全国統一を成し遂げるまでの経緯や刀狩、外交について調べ、世の中にどのような影響があったのかを考えるようにする。 ○ 豊臣秀吉が検地や刀狩を行うことで、武士が農民を支配する基盤を整えたことを理解するようにする。

5 博物館での学習

1 検地について調べよう。 博物館での学習
1時間

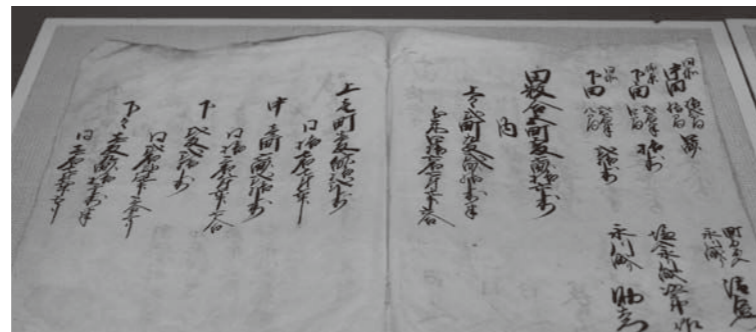
検米刀は年貢として納められた俵から米を抜き取り、品質を検査するために使われました。良質なものは売って、質の悪いものを年貢として納めようとする農民も中にはいたようです。また、刀の形になっているのは、農民との身分の差を示すためにこの形になっています。さらに、検査で使用する分のお米は、年貢で納める量に含まれなかったため、年貢用と検査用の両方の量のお米を納めないといけませんでした。



検米刀



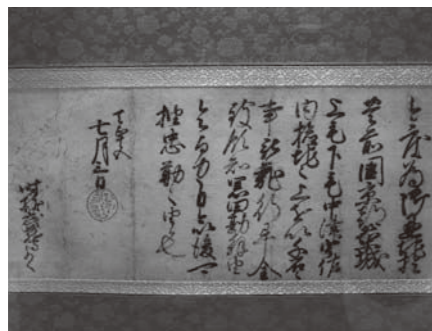
検地の様子



寛永三年規矩郡干上村田畠検地帳

まず、検米刀をよく観察し、ワークシート(1)に書きます。農民が年貢の米を検査されるということから、豊臣秀吉の政策に興味をもたせるようにし、検地についてワークシート(2)にまとめます。

豊臣秀吉の重要な政策の一つである太閤検地では、ものさしの長さや升の大きさを全国で統一し、田畑の面積や収穫量を調べました。その土地の生産力を米の体積で表しました。畑の四隅に細見竹を立て、中間に梵天竹を立て、縄を十文字にはり、田の面積を計算したことがわかります。



豊臣秀吉朱印状

「寛永三年規矩郡干上村田畠検地帳」は太閤検地の施行原則にならない、江戸時代の寛永3年(1626年)に土地台帳として作られました。この検地は小倉北区の日明で行われたものです。帳簿作成に当たっては、庄屋、百姓と藩方役人の双方が立会い、了解のもとで行われました。検地帳には、等級、面積、年貢高、耕作者を記載し、全国の土地を豊臣政権が管理しました。また、耕作者をはっきりとさせたことから、年貢を確実に取り立てるようにしました。この政策はのちの江戸時代まで続いていきます。

この朱印状は、豊臣秀吉から豊前の豪族である時枝武蔵守に与えられたものです。京都・築城・上毛・下毛・中津・宇佐の中で検地を実施したのちに、1000石の領地を与えると書かれています。秀吉によって、九州が平定されたことがわかります。

このようにして豊臣秀吉は全国を支配していきました。年貢を取り立てられ、取り立てられた後も検査をされた農民の気持ちや豊臣秀吉の政策の意図を考えることで理解を深めるようにします。

1 「検米刀」からどのようなことが分かるか書きましょう。



- 検米刀を見て、気がついたことを書きましょう。
- ・刀の中が空洞になっている。
 - ・長さは短い。
 - ・切れそうにないので争いなどでは使えない。

2 検地の様子の模型を見て、気付いたことを書きましょう。



- 検地は誰がどのように行ったのでしょうか。また、どのような道具を使用しているのでしょうか。
- ・役人が計測している。
 - ・田の端に細見竹を立てて長方形を作っている。
 - ・細見竹と細見竹の中間に梵天竹を立て、十字木で直交を確かめている。

3 検地や検査をされた農民の気持ちやそれを行った豊臣秀吉の考えを書きましょう。

＜農民の気持ち＞

- ・逃れることができない。
- ・年貢を納めないといけない。
- ・ごまかすことができない。
- ・とても苦しい。

＜豊臣秀吉の考え＞

- ・全国の土地を正確に測量し、管理したい。
- ・土地の広さや良しあしに合わせて、年貢を確実に取りたい。
- ・納められる年貢も品質の良いものを取りたい。